

JR東海労ニュース

No.1015

2008年2月2日

JR東海労働組合

会社と一体のJR東海ユニオンでは なんともならない!!!

皆さん、JR東海ユニオン「組織情報555号」で書かれていることに違和感を持ちませんか？脱退者を使って語っているようですが、その実態はぜんぜん違うのではないですか？！

JR東海ユニオンの組合員は、①若い人は会社の言いなりに、本当に前向きに一生懸命取り組んでいるのであろうか？②休日出勤が嫌だという組合員はいないのであろうか？③主任報告の本質たる「チクリ合い」を絶賛しているのであろうか？④組合員がデッチ上げで首を切られたことに闘うことに、それが「おかしい」と絶賛するのであろうか？④社員への責任転化のための「時系列等報告書」を絶賛して喜んで書いているのであろうか？…ほとんど疑問だらけです。

少なくとも、我々が感じている異常な会社姿勢に、JR東海ユニオン幹部が言う「非協力と対立が深まるばかり」と会社をもてはやすその腹は、会社幹部に「絶賛と忠誠」を前提にしているからです。現状を組合員のために変えようなどという姿勢など微塵も見られません。

JR東海ユニオン幹部が会社幹部に忠誠を誓うことは勝手ですが、会社幹部が異常なことをやっていることに対して異議を申すことは、労働組合としてあたりまえのことなのです。

間違っている会社幹部と一体の

JR東海ユニオン幹部を許すな！

私たちと共に闘いましょう！

展望のないリニアの方が
よっぽど問題だ！